読響 Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

古典 展覧会の絵

新しい時代の幕開けに
光は踊り、音は舞う！

プロコフィエフ：交響曲 第1番「古典」ニ長調 作品25
PROKOFIEV: Symphony No. 1 in D major, op. 25 "Classical"

カサド：チェロ協奏曲 ニ短調
CASSADÓ: Cello Concerto in D minor

ムソルグスキー（ラヴェル編）：
組曲「展覧会の絵」
MUSSORGSKY (arr. RAVEL): Pictures at an Exhibition

ミラノ・スカラ座、メトロポリタン
歌劇場などに次々とデビュー！

コルネリウス・マイスター
Conductor =CORNELIUS MEISTER
（読響首席客演指揮者）

©読響

読売日本交響楽団 第216回土曜マチネーシリーズ
Saturday Matinée Series No. 216

2019年4月27日（土）14時開演
東京芸術劇場 コンサートホール（池袋）
Saturday, 27th April 2019, 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre
S¥7,500　A¥5,500　B¥4,500　C¥4,000

読売日本交響楽団 第216回日曜マチネーシリーズ
Sunday Matinée Series, No. 216

2019年4月28日（日）14時開演
東京芸術劇場 コンサートホール（池袋）
Sunday, 28th April 2019, 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre
S¥7,500　A¥5,500　B¥4,500　C¥4,000

チェロ協奏曲 カサド

幅広い表現力と卓越した技巧、
みずみずしい感性で魅了する新星

上野通明（チェロ）
Cello = MICHIAKI UENO

©Darek Golik

お申し込み・お問い合わせ
読響チケットセンター 0570-00-4390（10時～18時 年中無休）
https://yomikyo.or.jp/

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団　共催：東京芸術劇場（公益財団法人 東京都歴史文化財団）

輝かしいフィナーレ！
人気のマイスターが振る

「展覧会の絵」

欧州で人気の読響首席客演指揮者マイスターが登場。ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場などで注目を浴び、今年1月にはメトロポリタン歌劇場へのデビューを果たしたドイツの新鋭だ。名門シュトゥットガルト歌劇場の音楽総監督を務めるほか、コンセルトヘボウ管、バイエルン放送響などに次々と客演。その非凡な才能に世界が熱い視線を送っている。

開幕に選んだのは、プロコフィエフの交響曲第1番「古典」。“交響曲の父”ハイドンの死から約100年、「もしもまだ生きていたらハイドンはこんな作品を書くだろう」という想像から生まれた作品である。躍動感あふれる軽快な幕開け、優雅な舞踏風のガボット。シンプルな形式の中の洗練された響きが美しく、ラストまで駆け抜ける疾走感が心地よい。

2曲目はガスパール・カサドのチェロ協奏曲。カサドは巨匠カザルスが見出した20世紀スペインの名チェリストかつ作曲家で、妻が日本人ピアニストの原智恵子ということもあり、日本でもファンが多い。このチェロ協奏曲はチェロの愛好家に“隠れた名曲”として知られているものの、演奏機会は少ない。今回ソロを務めるのは新星・上野通明。ブラームス国際コンクール優勝、ルトスワフスキ国際コンクール第2位など数々の受賞歴を誇り、世界へ羽ばたく注目株だ。幼少期をスペインで過ごした上野は、美しく親しみやすいメロディを情緒豊かに朗々と歌い上げ、エキゾチックな雰囲気を漂わせながらチェロの魅力を存分に発揮するだろう。

後半はトランペットの華やかなファンファーレで始まる「展覧会の絵」。もともとはロシアの作曲家ムソルグスキーが作曲したピアノ作品を、ラヴェルが色彩感あふれる管弦楽版に編曲した。多彩な響きが世界中の聴衆の心をとらえ、吹奏楽版のアレンジでも大人気。展覧会の会場を歩いているかのように、「殻を付けた雛鳥のバレエ」や「リモージュ（市場）」といった様々な場面が次々と現れる。最終曲はテレビでも使用され、誰もが一度は耳にしたことのある「キエフの大門」。鐘も加わる壮麗な響きが会場を包み、深い感動を呼ぶだろう。

二人の若き実力派が生み出す、華麗で豊潤なサウンド。幸福感あふれる、至福のひとときをお過ごしいただきたい。

コルネリウス・マイスター（指揮）

Cornelius Meister, Conductor

古典派から近代の作品まで幅広いレパートリーを持ち、オペラとコンサートの双方で大車輪の活躍を続けるドイツ期待の若手指揮者。2017年4月から読響の首席客演指揮者を務めている。1980年ハノーファー生まれ。05年から12年までハイデルベルク市立劇場の音楽総監督、10年から18年までウィーン放送響の首席指揮者兼芸術監督を務めた。18年9月シュトゥットガルト歌劇場の音楽総監督に就任。ロイヤル・コンセルトヘボウ管、バイエルン放送響、パリ管、ベルリン放送響、北ドイツ放送響、バーミンガム市響など世界の一流楽団と共演。オペラでは、ミラノ・スカラ座、英国ロイヤル・オペラ、バイエルン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、チューリヒ歌劇場などで活躍している。19年1月、メトロポリタン歌劇場にデビューを果たし、成功を収めた。

©読響

上野通明（チェロ）

Michiaki Ueno, Cello

同時代の傑出した才能として注目を浴びる大器。1995年パラグアイ生まれ。5歳からチェロを始め、幼少期をスペインで過ごす。13歳で若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクールで日本人として初めて優勝。ルーマニア国際音楽コンクール最年少優勝。ブラームス国際コンクール第1位、ルトスワフスキ国際チェロコンクール第2位など受賞多数。これまでにロシア国立響、ワルシャワ国立響、東響、東京フィル、新日本フィルなど国内外の楽団と共演を果たすほか、カザルス音楽祭、ヴェルビエ音楽祭等にも参加。桐朋学園ソリスト・ディプロマ・コースで毛利伯郎に師事し、現在はドイツのデュッセルドルフ音楽大学にてピーター・ウィスペルウェイに師事している。

©Masayuki Ikeda

読売日本交響楽団 第216回土曜マチネーシリーズ

2019年4月27日（土）14時開演

S ¥7,500／A ¥5,500／B ¥4,500／C ¥4,000

読売日本交響楽団 第216回日曜マチネーシリーズ

2019年4月28日（日）14時開演

S ¥7,500／A ¥5,500／B ¥4,500／C ¥4,000

東京芸術劇場 コンサートホール（池袋）

東京都豊島区西池袋1-8-1　Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分（＊駅地下通路2b出口と直結しています）

託児サービス 東京芸術劇場には一時託児施設があります（公演1週間前までに予約）。わらべうた0120-415-306（予約受付：平日9時-17時）

学 学生券：学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます（要学生証／25歳以下）。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。　■未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

＊10時－18時・年中無休

読響チケットWEB http://yomikyo.pia.jp/

＊座席選択可／チケット郵送料無料

プレイガイド　チケットぴあ 0570-02-9999　東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296